

第2次名張市スポーツ推進計画（素案）に係るパブリックコメント意見募集結果及び計画（案）について

1. パブリックコメント意見募集結果

募集期間	令和7年10月1日（水）～同月31日（金）		
件数	5件（1人）		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	0件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	3件
	参考	素案に盛り込めないが、今後の参考とするもの又は意見として伺ったもの	2件
	その他	パブリックコメントの趣旨と異なるものなどその他のもの	0件

No.	ページ	項目	意見	対応	市の考え
1	15 ～ 17	1. だれもが生涯を通じてスポーツに親しむ環境づくり 2. 未来を創る子どもの運動・ス	高齢化の街に高齢者スポーツといった現実はあるものの、やはり若い方々が楽しめる計画を盛り込むべきだと思います。	既記載	若い方々に向けては、15ページに30代～50代の働く世代・子育て世代が気軽に参加してスポーツを楽しんでもらうことができるイベントや教室、大会などを実施することや、16ページに若者に人気のあるアーバンスポーツ等をはじめとした多様なスポーツ機会の創出を図っていくと記載しています。 さらに、本計画では、17ページに「未来を創る子どもの運動・スポーツの充実」として、子どもに関する取組を新たに掲げ、子どもたちの体力向上につながる取組

		ポーツの充 実			を行うとともに、運動・スポーツを楽しみながら継続して行うことができる環境を整えていきます。
2	1 1 ～ 1 3	3. スポー ツに関する 市民(団体) アンケート 調査の分析	<計画全体に係る意見> 既存スポーツ団体の意 見を聞きすぎること で、偏った計画になら ないように注意すべき だと思います。	既記載	1 1 ページから 1 3 ページまでに記載があるように、1 8 歳以上の市民 2, 0 0 0 人を対象にしたアンケート及び名張市内のスポーツ関連団体 1 6 9 団体へのアンケートを実施し、本計画を作成しています。
3	1 8	4. スポー ツを楽しむ 施設整備と 活用	財政難の名張におい て、スポーツ施設の改 修や更新が当分不可 能であるにもかかわらず、改修 整備に努めるなど、絵 に描いた餅にならない よう、財政健全化計 画に基づいた整備計 画、方針も盛り込む 必要があります。 市民プールをどうす るのか、体育館の改 修をどのように進め るのか、そ	参考	令和 6 年 1 1 月策定の名張市行財政改革プランに基づき、公共施設全体の整備の方向性や広域化による施設の相互利用を見据え、市民プールや市総合体育館など体育施設の在り方も含めた検討を進めていきます。 また、厳しい財政状況にありますが、利用者が安全・安心に体育施設を利用できるように、施設の長寿命化を図り、緊急性や優先度を踏まえ、老朽化が進む施設の改修及び整備に努めていきます。

			<p>の他、老朽化施設の改修整備をいつ頃どのように進めるのか。</p>		
4	22	【資料編】3 スポーツ関連データ	<p>高齢化が進んでいる名張において、全体的に高齢者向けスポーツが、限られた方々において盛んであることは承知しているが、三重県と比較したデータでは、児童のスポーツが好きな割合が減少しているのが気になります。理由をしっかりと解析する必要があるのではないか。</p>	参考	<p>22ページに記載している児童生徒に関するデータにおける運動やスポーツをすることが好きな児童の割合に関しては、小中学校の校長等や教育委員会で構成する学力・体力調査活用検討委員会で、子どもの生活習慣の変化を含め、毎年度、結果の分析を行い、議論をしています。</p> <p>また、市内各小中学校の体育担当者が集まる「保健体育代表者会」においても、各中学校区における課題分析を行い、日頃の授業の改善に向けた取組を進めています。</p>
5	—		<p><計画全体に係る意見> 新たに若い方々がさらに参加できる、参加したいと思ってもらえるスポーツをどう進めるかなど、単純な従来の計画更</p>	既記載	<p>No.1の市の考えにもあるように、30代～50代の働く世代・子育て世代が気軽に参加してスポーツを楽しんでもらうことができるイベントや教室、大会などを実施するとともに、若者に人気のあるアーバンスポーツ等をはじめとした多様なスポーツ機会の創出を図っていくと記載しています。また、「未来を創る子どもの運動・ス</p>

		<p>新ではなく、新たなスタート計画としていくべきです。</p> <p>既にパブコメ段階なので、上記の内容はなかなか反映されないと思いますが、計画の更新時期が遅れてでも、しっかり見直すべきだと思います。</p> <p>子どもの減少、高い高齢化率、両者の間の若い世代にウケる計画を期待します。</p>	<p>「スポーツの充実」として、子どもに関する取組も新たに掲げており、若い世代がスポーツを楽しみながら継続して行うことができる計画としています。</p>
--	--	---	--